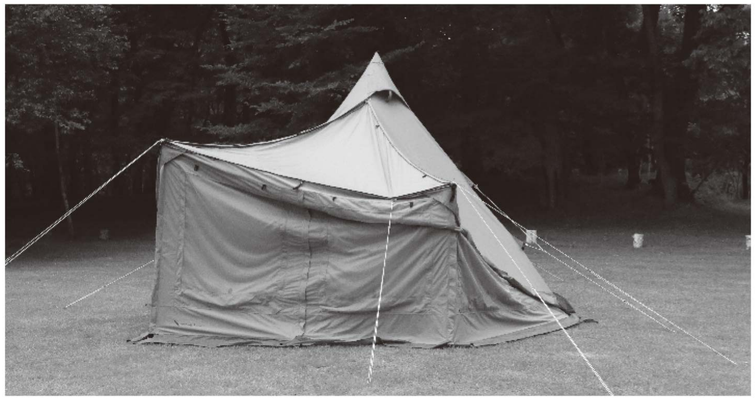
11 雨対策



雨の場合はテント向かって右側を低くし斜めにすることで、
雨漏りや、雨水が溜まることでの、テント崩壊を防ぎます。
雨が降る前に、対策をしてください。
就寝前に少しでも雨の降る可能性がある場合は、就寝前に対策を必ず行ってください。

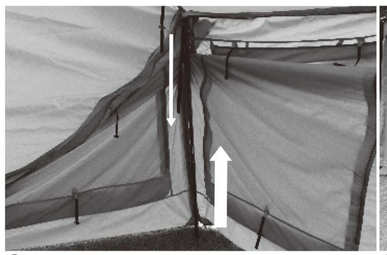
対 策 方 法

❶ 長さ調整可能のポールを手前に引きテンションを緩めます。

❷ ラチェットボタンをおし、ポールを最短にします。

❸ 最短にしたら、ポールを垂直に戻し、
外の張綱を調整してテンションをかけてください。

❹ 写真の丸部分ループを下に引きます。
※バックルがセットされていない場合は先にセットしてください。



❺ ループを引くことでスカート部分が上に持ち上がり、
裾部分を泥汚れから軽減できます。

❻ 赤のループにテントのフロントに使用していた張綱を
取り付けペグダウンします。水の流れがスムーズになり
天井に水が溜まるのを防ぎます。

シリーズ共通　セット内容

- ☐ テント本体
- ☐ スチールポール × 2本
- ☐ 張り綱（2股）× 2本
- ☐ 取扱説明書（本書）
- ☐ スチールピンペグ × 7本
- ☐ 樹脂CAP&連結パーツ × 2セット
- ☐ 収納袋（メイン、ポール、アクセサリ用）

⚠ 警告/ご使用上の注意

使用前に必ず取扱説明書を読み、
一度組み立て付属品の不足や破損がないか確認してください。

本書は製品を安全に使用するための禁止事項と設営方法を記載しております。
使用前に必ずお読み下さい、また必ず製品と共に保管して下さい。

〈警告〉

- テント内部の照明は電池式のランタンを使用してください。ガスやガソリンのランタンは火災の原因になります。
- 台風、暴風雨の際は絶対に使用しないで下さい。
- 使用中は天候の変化に注意し突風や豪雨、雷などの悪天候が予測される場合は使用を中止し速やかに撤収、安全な場所へ退避をして下さい。

〈注意〉

- 快適なキャンプの為に製品の破損や付属品の不足が無いことを確認してから使用して下さい。
- 必ず周囲の安全を確認し広い場所で組み立て使用して下さい。特にお子様がいる場合はフレームがぶつかったりしないよう十分にご注意下さい。
- 設営及び撤収の際は手袋等を着用し、安全に作業をして下さい。
- 説明書に従い全ての張り綱を確実に固定した状態でご使用下さい。
- 焚き火のそばなど火が当たる可能性のある場所、火の粉がかかる恐れのある場所で使用しないで下さい。
- テント内と外気の温度差、使用人数が多い場合は結露が生じテント内に水滴が付く恐れがあります。
- 製品に使用している素材は使用頻度に関わらず湿度、日光、温度などの環境要因により徐々に劣化します。
- お客様による製品の改造、誤った使用方法による事故や故障につきましては一切の対応をお断り致します。
- 常設用ではありません。直射日光の常時当たる環境でご使用となる場合は退色や生地の劣化が進み短期間で製品寿命となることがあります。
- 砂地や河原など付属のペグで固定が不十分な場合は、別途設営場所に合わせた市販のペグをご用意下さい。
- 摩擦、水濡れや汗等の影響により、色落ちする場合があります。

〈メンテナンス、保管上の注意〉

- 使用時は汚れを良く落とし、乾燥させてから収納、保管して下さい。
- 濡れたままや汚れたまま収納保管すると、カビや臭いの発生、色移り、生地の劣化を早めます。
- ポールは中まで乾燥させてください。
- 海沿いで使用した場合は塩分を水で洗い流し乾燥させてください。
- 高温多湿の場所に保管すると生地の劣化をはやめます。風通しの良い直射日光が当たらない場所に保管してください。
- 洗濯機で洗わないで下さい。
- 製品の破損、故障についてはご購入頂いた販売店までご相談下さい。

発売元

株式会社カンセキ
〒321-0158 栃木県宇都宮市西川田本町3-1-1
http://www.tent-mark.com/

MADE IN VIETNAMIN

tent-Mark DESIGNS

TENT・TARP
ACCESSORY

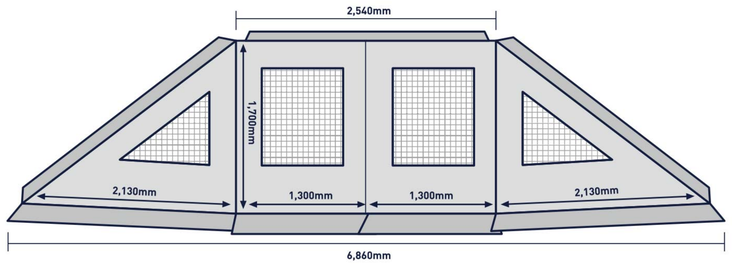
フロントフラップ ワイド シリーズ

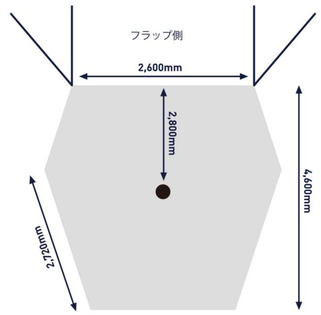
FRONT FLAP WIDE Series

TM-21106 / TM-25006 / TM-25007 / TM-25008
TM-25009 / TM-25010 / TM-25011 / TM-25012 / TM-25013

取扱説明書

製品サイズ





フラップ装着時

SPEC

FRONT FLAP WIDE (SAND) / FRONT FLAP WIDE Duck-Green / FRONT FLAP WIDE SOLUM / FRONT FLAP WIDE NATSU / FRONT FLAP WIDE DECEMBER / FRONT FLAP WIDE EKAL Earth Gray / FRONT FLAP WIDE EKAL Smoky blue

■ 素　　材 ／ 本体幕体：コットン混合素材（ポリエステル65% × コットン35%、表面撥水加工）
メッシュ：ポリエステル　/　マッドガード：ポリエステル　/　テープ類：ポリプロピレン
ファスナー：ナイロンコイル
ポール：スチール（175/135cm調整可能ポール、175cmポール）22mm径
■ 収納サイズ ／（約）650 × 210（直径）mm
■ 組立サイズ ／ 本体：6,860 × 1,700（高）mm
■ 同　梱　物 ／ テント本体、スチールポール×2本、スチールピンペグ×7本、張り綱（2股）×2本、
樹脂CAP&連結パーツ×2セット、収納袋（メイン、ポール、アクセサリ用）、取扱説明書

FRONT FLAP WIDE ST / FRONT FLAP WIDE ST BLACK

■ 素　　材 ／ 本体幕体：ポリエステルリップストップ150D（PU 1,500mm）
メッシュ：ポリエステル　/　マッドガード：ポリエステル　/　テープ類：ポリプロピレン
ファスナー：ナイロンコイル
ポール：スチール（175/135cm調整可能ポール、175cmポール）22mm径
■ 収納サイズ ／（約）650 × 210（直径）mm
■ 組立サイズ ／ 本体：6,860 × 1,700（高）mm
■ 同　梱　物 ／ テント本体、スチールポール×2本、スチールピンペグ×7本、張り綱（2股）×2本、
樹脂CAP&連結パーツ×2セット、収納袋（メイン、ポール、アクセサリ用）、取扱説明書

1 設営前の確認

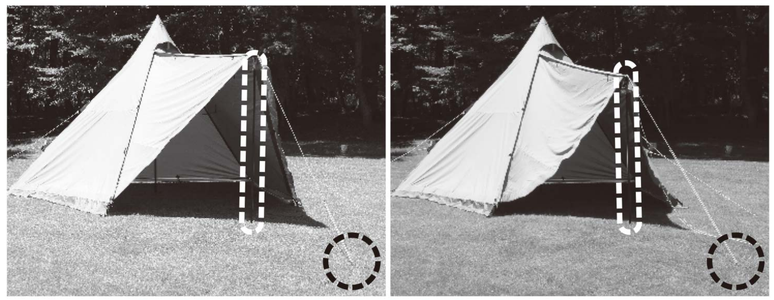
・ セット内容の確認をしてパーツに不足や破損、異常がないか確認します。

2 サーカスTC / STDXシリーズを設営します

できるだけ水平な場所に張ってください。
設営後、サイドフラップのファスナーの位置を確認します。
線の場所にファスナーがない場合は、テント入口向かってファスナーの右の
ペグループにペグダウンしてる可能性がございます。
いったん戻し、ファスナー向かって左のテープをペグダウンして右のループを上げてください

POINT テント自体をきれいに張ってからフラップの取り付けに進みます。
テント設営の注意点はテント取り扱い説明書をご確認ください

3 フラップ部分のポールを付属のポールに変更



付属のポールに変更しますが、**長さ調整が可能なポール**をテント向かって右に取り付けます。
最長にして取り付けてください、張綱はテント付属の張綱を取り外し、**付属の二股張綱**に変更します。
ペグポイントはテントを設営したペグをいったんそのまま使用してください。

POINT 雨対策の際右側に長さ調整可能なポールを使用することで機能する仕組みです。
必ず長さ調整ポールを使用してください。

4 左側にポールを入れます

〇印の部分をペグから外し、
長さ調整不可のポールを
取り付け張綱を張ります

二股の張綱でバランスを取り、点線部分が水平になるように調整します
張綱の引く位置で、テンションが出やすくしわが少なくなるペグポイントを
見つけペグダウンしてください

5 本体を広げ左右の前後の確認をします

ここに赤のテープが
来るように置いてください

赤テープは
テント向かって
右側のポールに
取り付けます

左右：テント向かって右上にに赤のテープがあることを確認します。
前後：メッシュ部分が外側になります

6 装着します

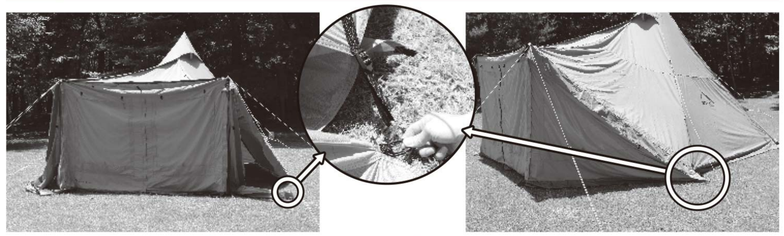
※写真はテント向かって左側

ポールを斜めにしてテンションを緩め（張綱の自在は緩めず、ポールを斜めにしてテンションを緩めてください）いったんテントを外し、
ポール→フロントフラップWIDE→テント本体の順番でポールに刺してくださいテント本体の上に
キャップをさして張綱をその上にセットしてください。

キャップ装着後、ポールを垂直に戻すと、テンションが戻ります。

POINT 張綱の自在は動かさずポールを斜めにする事で、テンションを緩め、
装着後垂直に戻すことでテンションが戻り、テント設営時に調整した形が崩れにくい。

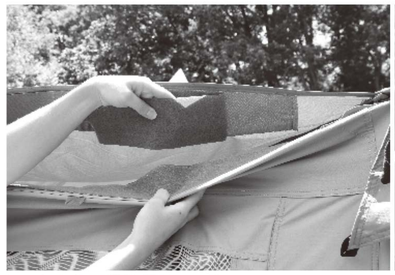
7 左右のパネルをセットします



フラップ左右のゴムを、**2重**にしてテント本体のペグに取り付けます

8 面ファスナー加工がある場合

面ファスナー加工がないテントでも設営は可能です。
面ファスナー加工をすることで、隙間がなくなりさらに快適にご使用いただけます。



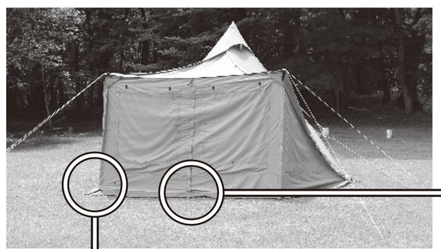
テント本体の保護用テープを
外しながら取り付けしてください

ガイドを少しずつ剝がしながら装着してください

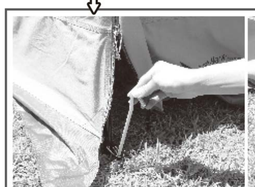
9 左右のスカートのバタつきを押さえます

ゴムとカラビナがセットになっているパーツを使用し写真のようにスカートを留めます

10 本体下部のゴムループをペグダウンします。

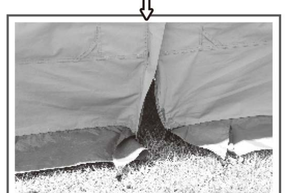


使用方法により、
留めるめるゴムループは異なります。



前面を巻き上げたい場合

側面を巻き上げたい場合



巻き上げたい場所によって
左右どちらかをペグダウン